

質問者氏名	質問事項	質問要旨
<p>9番 山田 和江</p>	<p>1 箱根町行財政改革アクションプランについて問う</p>	<p>箱根町は、昨年、財政逼迫を理由に、急遽、固定資産税の超過課税を提案し、賛成多数で可決した。</p> <p>一方、町当局は、財政逼迫の町民説明会を行っているときに、今後の町財政の健全な運営のために、これまでの「行政改革大綱」と「財政健全化プラン」の2つを統合し、「箱根町行財政改革アクションプラン」を策定し、議会に示された。このプランでは、2019年度までの5年間で収支改善を5億7千万円捻出し、今後の財源不足を圧縮するとされている。しかし、このプランには、使用料・手数料の見直しや救急車の有料化、窓口業務の民間委託の導入、水道事業の包括委託導入の検討、消防職員の削減などが盛り込まれており、町民の営業と暮らしに多大な影響をあたえるものとなっていることは重大である。そこで、以下の点について伺う。</p> <p>①このプランは議会に示されたが、広く町民にも知らせるべきではないか伺う。</p> <p>②すでに、このプランでは、ごみ収集体制の見直しで先取りが行われ、混乱が生じていることについて、町長の見解を伺う。</p> <p>③窓口の民間委託、水道の包括委託導入等はやめるべきではないか伺う。</p> <p>④固定資産税の超過課税は3年間。その後の財源確保については、このプランとの整合性はどうなのか。また、観光地の負担軽減についての取り組みはどのようなものか伺う。</p>

	2 大涌谷園地への立ち入りについて	大涌谷園地への立入規制も1年が経過したが、この間、4月にはロープウェイの大涌谷までの延伸や温泉供給会社の温泉井のメンテナンスへの立入が実現し、さらに大涌谷を象徴する「黒たまご」の製造もできるようになり、歓迎をされた。しかし、園地への立入規制が解除されないことの影響は、大変大きく、町民や観光客からは園地への立ち入りを望む声が増大している。最近では、大涌谷の周辺でも緑が復活している状況を見ると、火山性ガスも一定基準以下で安定が保たれているのかと思われる。そこで、火山性ガス対策に万全を期した上での園地への立ち入りの見通しはどのような状況か伺う。
--	-------------------	--